



日本共産党区議会議員清水菊美

こんにちは ニュース

連絡先 清水菊美事務所

090-3342-3001

2020年9月25日

第3回定例議会 清水菊美区議 一般質問

1 コロナ禍において、介護事業者への緊急対応を求める



ら聞いた現場の切実な声にもとづいて質問しました。

○介護事業者へ消毒液、マスク、使い捨て手袋等の現物支給の実施を

○介護を支える従事者へ「大田区独自の危険手当」の支給を

○特養等に新たに入所する区民とすべての介護職員への定期的なPCR検査の実施を一刻も早くおこなうこと

○収入が激減した事業者へ減収分

日本共産党区議団が実施した緊急アンケート（約600事業者に発送し、74通の返信や、懇談等の中か

の補てん策をすること

○2段階アップの介護利用料の負担分は、利用者ではなく区が負担すべき

2 コロナ禍での生活保護行政は、区民に寄り添ったセーフティネットにすることを求める

日本共産党の国会での討論、日頃の生活保護の相談の中からの相談者の声や、区の福祉オンブズマンの報告書から質問しました。

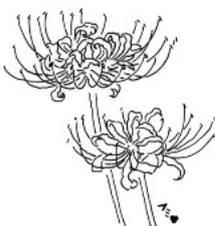
○厚生労働省が作成した「生活保護は権利です」のリーフレットを活用するなどし、HP・区報などを使い「誰もが生活保護を受ける権利があること」「心配しないで相談に来てほしい」と、広く広報周知の努力をすること。

○生活保護担当の職員の過重負担を減らし、被保護者との信頼関係ができ一人一人に寄り添った相談活動ができるようにケースワーカーの増員を求める。

少人数・20人以下・学級を求める陳情 すべて不採択

子ども文教委員会に5件の陳情が提出されましたが、自民党、公明党、令和はすべて不採択にしました。理由は「教室や教員を倍にしなければできない。到底こんなことはできない。現実的でない。物理的に無理。」等々でした。

日本共産党区義団はコロナ禍において傷ついている子どもたちを何より大事にしてほしい。教員の過重労働を緩和してほしい。40人学級では密が回避できない等々の理由を述べて、採択を求めました。



インフルエンザ予防支援が広がります。

第3次補正予算で70歳以上であった支援を、65歳以上の高齢者、60～64歳の障害のある対象者の自己負担分2500円を区が負担します。無料になります。区から申請書がとどきます。各人で医療機関に確認してください。